

| 授業科目名  | 開講年次 | 開講学期 | 講義種類 | 単位数 | 担当教員名 |
|--|------|------|------|-----|-------|
| 子どもの健康と安全  | 1年   | 後期   | 演習   | 1単位 | 大窪 智美 |
| <p>○授業の到達目標及びテーマ</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 保健的観点に基づき、子どもの日常生活の援助ができるようになる。</li> <li>2. 関連するガイドラインや近年のデータを理解し、保育現場において感染症予防・事故防止・危機管理が実践できるようになる。</li> <li>3. 子どもの体調不良・けがに対し、適切な対応ができるようになる。</li> <li>4. 保健計画とその評価について理解し、組織の一員として健康管理及び安全管理に取り組むことができるようになる。</li> </ol>  |      |      |      |     |       |
| <p>○授業の概要</p> <p>関連するガイドラインや近年のデータを基に、保育現場で実践すべき感染症予防・事故防止・危機管理の具体的な実践内容について理解する。また、演習を通して、日常生活の援助技術及び病気やけがに対する実践力を高める。</p>  |      |      |      |     |       |
| <p>○授業計画</p> <p>第1回：保健計画と評価</p> <p>第2回：乳児の抱き方・寝かせ方・あやし方</p> <p>第3回：ミルク・食事の与え方</p> <p>第4回：排泄のお世話</p> <p>第5回：感染症の予防と発生時の対応</p> <p>第6回：慢性疾患を患っている子ども、障がいをもつ子どもへの対応</p> <p>第7回：アレルギー性疾患を患っている子どもへの対応</p> <p>第8回：子どもに起きやすい症状と対応</p> <p>第9回：与薬の要望に対する適切な対応</p> <p>第10回：傷の危険性と応急手当</p> <p>第11回：突き指・捻挫・脱臼・骨折等の応急手当</p> <p>第12回：子どもに起きやすいけがと応急手当</p> <p>第13回：救急蘇生法</p> <p>第14回：保育現場における衛生管理及び安全管理の具体的方法</p> <p>第15回：健康管理及び安全管理の実施体制</p> <p>定期試験</p> |      |      |      |     |       |
| <p>○テキスト 「現場で職場で役に立つ 子どもの健康と安全演習ノート」 小林美由紀編著. 診断と治療社</p>   |      |      |      |     |       |
| <p>○参考書・参考資料等</p> <p>「幼稚園教育要領解説」(最新版) 文部科学省. フレーベル館</p> <p>「保育所保育指針解説」(最新版) 厚生労働省. フレーベル館</p> <p>「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」(最新版) 内閣府・文部科学省・厚生労働省. フレーベル館</p>   |      |      |      |     |       |
| <p>○学生に対する評価</p> <p>定期試験 50%      授業課題 30%      実技 20%</p>   |      |      |      |     |       |

